

ふれあいの橋の会

REPORT よなご



訪問日 2025年9月 3日(水) 14:00～ 15:30

訪問先 介護老人福祉施設 きんかい幸朋苑 米子市錦海町 3-5-15

出席者 【委 員】 田平 敏雄、名越 光義、福谷 武彦、三島 峰子

【よなごエリア】 野坂 美保 (介護老人福祉施設きんかい幸朋苑 施設長)

岩田 美幸 (介護老人福祉施設きんかい幸朋苑 主任相談員)

【法人本部】 荒井 祐二 (監 事)

今回は、2006年5月に開設した介護老人福祉施設きんかい幸朋苑とショートステイを訪問しました。隣接地には「錦海リハビリテーション病院」や「YMCA米子医療福祉専門学校」が開設され、医療と介護の連携が進んでいます。施設の西側には、四季折々に景観が美しく変化する中海が広がっていました。



開会(荒井)：本日は、**特養とショートステイ**を対象とします。きんかい幸朋苑は、8月27日に「福祉サービス第三者評価の報告会」がありましたので、概要を報告してください、また、「ふれあいの橋の会」の充実を図るために、**評価表や他エリアのレポート**を配布しています。チェック項目に従い、具体的な提言をお願いします。はじめにきんかい幸朋苑の**現況報告**をお願いします。①

岩田主任：きんかい幸朋苑は、2006年5月開設。特養30床、ショートスティ6床、入居者年齢72歳～101歳、平均年齢90.4歳、入居者は、入居判定員会で決定します。全室個室、浴室4か所（特殊浴槽1台、個浴3台）、4ユニットで運営。職員は、施設長1名、常勤医師1名、看護師3名、相談員1名、管理栄養士1名、介護士21名、軽作業2名で構成しています。グローバル人材でインドネシア人2名、10月から1名追加予定です。平均介護度は4.1、介護度4～5が介護度3になることもあります。

名越委員：入居者の食事は、どこで調理していますか。

岩田主任：隣の錦海リハビリテーション病院で調理した食事を運んでいます。

名越委員：雨や雪など悪天候の日もあります。現状の運搬方式で良いのか、検討の必要性を感じます。

名越委員：介護度が軽くなる場合があるようですが、原因として考えられるのは何ですか。

野坂施設長：特養は、病院を退院して入居されるケースが多いです。特養に入居してから体調が回復することがあり、そうしたことも原因の一つかと思います。

福谷委員：市の認定調査員が訪問して聞き取りをされますが、何でもできるように話す人もあると思います。正確な介護度を判定するには、家族や医者など多くの情報で判定すべきだと思います。

野坂施設長：市の調査員は、家族からも聞き取ります。私は西部広域の介護認定審査会に出席していますが、市の調査結果に、かかりつけ医の意見書などを加えて判定しています。毎月40件ぐらいが審査されますが、非該当になる場合もあります。

三島委員：認知症状がある場合、調査の際に何でもできると答える人が多いと聞きます。

名越委員：家族がいない場合は、本人の話だけで判定することになりませんか。

野坂施設長：そうした場合は、ケアマネジャーが参加します。

田平委員：他の施設では、ベッドの下にセンサーを設置するなどの取り組みがなされていました。

岩田主任：ベッドの下に眠りスキャンを設置し、心拍数などを計測し、体調管理をしています。

三島委員：施設を訪問するごとに、新しい福祉用具が導入されています。職員の皆さんは、それらに対応しなくてはいけないので、大変だろうと思っています。負担感はないですか。

野坂施設長：こうほうえんでは、日々開発されるICT関連機器の導入を検討し、生産性向上に向けた取り組みを進めています。多くの効果が表れていると実感しています。

②



見守り支援システム「眠りスキャン」



荒井監事：8月27日の **福祉サービス第三者評価** の概要を報告してください。

野坂施設長：社会福祉法人等の事業者が提供するサービスの質を公正・中立な第三者機関が、専門的かつ客観的な立場から評価する事業です。今年1月に3日間かけて、職員の自己評価やご家族アンケート、ヒアリングなどを実施。評価項目は62項目あり、3段階でそれぞれ評価されます。きんかい幸福苑で、**評価の高い点**は、①看取りケアの実践・・・常勤医師と看護師のバックアップにより、退居者のほぼ全数に看取りケアを実践 ②機能低下を予防する取り組み・・・多様な専門職との協働で機能低下予防。**改善を求める点**は、①事業計画策定過程の職員参加、利用者・家族への周知徹底 ②ホームページでの情報発信、ボランティアの受け入れなどの取り組み などの指摘を受けました。気づきに繋がるが多くあり、改善に向けて取り組んでまいります。

田平委員：評価された機関は、どういう組織ですか。

野坂施設長：メイアイヘルプユーという法人で、こうほうえんは以前から委託しています。専門的な知識を有する3名の委員が訪問されました。

三島委員：評価内容を読みますと、随分細かい点が指摘されていました。取り組みたいことは何ですか。

岩田主任：私たちは、職員と連携して業務を行っていますが、**説明機会を増やし、職員の意見を吸い上げる取り組み**などを行い、ご利用者の生活がより豊かなものとなるようにしたいと思います。

福谷委員：会社や法人では、朝礼や引継ぎ会などで理念や基本方針を読み上げるなど、目標に向けた取り組みをしていると思いますが、職員全員に徹底することは難しいものです。**何度も繰り返し、分かりやすい内容で伝える**ことが必要だと思います。

三島委員：評価項目の内容は、利用者にとってはとてもいいことですが、項目内容を徹底することは容易ではないと思います。目標であり、必ず実施するとなると大変ですね。

名越委員：私は、苦情解決第三者委員会の委員を務めています。毎回事業所で改善に向けた取り組みをされていますが、再発防止の方策をもう少し具体化すべきかと思います。しかし、再発防止の徹底は、容易ではないことも理解しています。

③





荒井監事：話題を変えます。 配布しました評価表（①建物、施設内、周辺 ②職員の態度、接遇 ③ご利用者へのサービス ④その他）のチェック項目を照合し、**気づいた点**を指摘してください。

三島委員：施設全体を点検しましたが、きれいに整理され、掃除も行き届いていました。

福谷委員：廊下に絵画などの額縁が並んでいましたが、車椅子を利用されている入居者が鑑賞できるよう高さ調整がなされており、いいと思います。入居者を中心にし、配慮がなされていました。

名越委員：インドネシアから来日された男性の技能実習生が入居者に支援をされていましたが、とても優しく丁寧にされており、感心しました。日本人の介護士の皆さんも明るく元気に挨拶をされ、爽やかな感じを受けました。

福谷委員：評価表では、職員の服装や頭髪をチェックする項目があります。昔は髪の色を問題にしていたのですが、清潔感があり、相手に不快感を与えなかったらいいと思います。職員の皆さんには、**笑顔や挨拶を大事**にしていきたいと思っています。

名越委員：時代は常に変化しており、価値観も多様化しています。何が大事かを考えるべきです。

荒井監事：きんかい幸朋苑を一周してみました。猛暑が続く中で**除草作業**は大変だと思いますが、涼しくなったら実施してください。

野坂施設長：区間を決め、職員が分担して実施しています。天候を見ながら作業を再開します。

本日は、貴重なご意見をいただき有難うございました。今後の運営に役立てたいと思います。

次回は、**10月2日（木）14：00～ グループホームかみごとう**を予定しています。 ④

